



平成30年度 後期 技能検定受検案内 技能五輪栃木県地方大会参加案内

国家試験

技能検定は、皆様の技能が一層みがかれ、また、皆様の地位が向上することを目的とした国家検定制度です。

技能検定は、実技試験と学科試験が行われ、合格した方には、特級・1級及び単一等級の場合は厚生労働大臣から、また、2級及び3級の場合は栃木県知事から合格証書が交付され、技能士の称号が付与されます。

技能検定職種のうち、国際職業訓練競技大会(技能五輪国際大会)にかかわる職種についてはその地方予選(栃木県予選)も兼ねて行ないます。

栃木県職業能力開発協会
〒320-0032
宇都宮市昭和1-3-10
栃木県庁舎西別館
TEL 028-643-7002
<http://www.tochi-vada.or.jp>

注意！ 今期より申請書の様式変更があります。「平成30年9月改訂版」で提出ください

1. 技能検定実施日程

		平成30年10月1日(月)～10月12日(金)	
受検申請 受付方法		※受付時間 8:30～17:15 申請期間は土日祝日も受け付けます。 受検申請書・本人確認書類(運転免許証・保険証・学生証等)を栃木県職業能力開発協会へ提出して下さい。【免除がある場合は免除になる書類のコピーも添付して下さい】 窓口受付または郵送(消印有効)により申請(「受検者制限有り作業」は窓口受付のみ) お預かりした個人情報は技能検定及びそれに付随する業務以外には使用しません。	
受検料の 支払方法		当協会指定用紙(足利銀行又はゆうちょ銀行)により、申請期間内にお振込みください。 振込手数料はご負担いただきます。 申請書の受理後、受検手数料はお返し出来ませんので、ご注意下さい。 ※2・3級受検者及び技能五輪で35歳未満の方は実技受検料減免があります(4ページ参照)	
受検票の発送		平成30年11月26日(月)以降	実技試験問題公表日以降、実技試験問題と共に受検票を順次、発送します。12月中旬に届かない場合はお問合せ下さい。
実 技 試 験	問題公表	平成30年11月26日(月)	一部の職種については問題の公表が出来ません。
学 科 試 験	実施期間	平成30年12月3日(月)～ 平成31年2月17日(日)の指定日	・実技試験・学科試験とも、試験を実施する日時・会場及び会場への地図を受検票に記載しています。 ・日時・会場の変更希望には応じられません。
学 科 試 験	実施日	平成31年1月27日(日) 平成31年2月3日(日) 平成31年2月10日(日)	学科試験は、左記の3日間のうちいずれか一日 (2, 3ページ参照)
合格発表		平成31年3月15日(金)	・技能検定合格者(実技学科試験とも合格し、技能士になる方) 栃木県労働政策課より郵便で通知します。県庁掲示板にも掲示また、栃木県庁ホームページに受検番号を掲示します。 ホームページの掲示は、当協会ホームページよりリンクしています。 ・実技又は学科試験のみ合格者 当協会より郵便で本人あて通知します。(この通知書は次年度からの免除資格となりますので、大切に保管して下さい。) ・不合格者への通知はいたしません。 ・得点開示→合格発表日から1ヶ月以内に受検者本人が免許証等の本人確認書類と受検票又は合格通知を持参し、栃木県庁6F・労働政策課の産業人材育成担当(☎ 028-623-3238)をお訪ね下さい。代理人や電話での得点開示は出来ません。 ・合否基準 原則、実技試験60点以上 学科試験65点以上

2. 実施職種及び実施日

特級（25職種）

検定職種	作業	項目			実技試験			学科試験			備考欄	職業訓練指導員の対応職種
		製作等 作業試験	判断等 試験	計画立案等 作業試験	全国統一	1/27	2/3	2/10				
特級全職種		-	-	2月3日		○						

☆特級実施職種

- ①鋳造 ②金属熱処理 ③機械加工 ④放電加工 ⑤金型製作 ⑥金属プレス加工
 ⑦工場板金 ⑧めっき ⑨仕上げ ⑩機械検査 ⑪ダイカスト ⑫電子機器組立て
 ⑬電気機器組立て ⑭半導体製品製造 ⑮プリント配線板製造 ⑯自動販売機製造 ⑰光学機器製造 ⑱内燃機関組立て
 ⑲空気圧装置組立て ⑳油圧装置調整 ㉑建設機械整備 ㉒婦人子供服製造 ㉓紳士服製造 ㉔プラスチック成形
 ㉕パン製造

注：特級の受検資格は、1級技能士取得後、該当職種における実務経験が5年以上の方です。

1級・2級（29職種37作業）

検定職種	作業	項目			実技試験			学科試験			備考欄	職業訓練指導員の対応職種
		製作等 作業試験	判断等 試験	計画立案等 作業試験	全国統一	1/27	2/3	2/10				
さく井	パーカッション式さく井工事	-	1月20日	1月20日		○						さく井科
	ロータリー式さく井工事	-	1月20日	1月20日		○						
鍛造	プレス型鍛造	-	1月27日	○								鍛造科
工場板金	◆機械板金	-	-	○								塑性加工科
	◆数値制御タレットパンチプレス板金	-	-	○								
金属ばね製造	線ばね製造	受検票参照	受検票参照	-		○						
	薄板ばね製造		受検票参照	-		○						
機械検査	機械検査	-	1月27日	○								機械科
電気機器組立て	シーケンス制御	-	1月27日	○								電気科・メカトロニクス科
半導体製品製造	集積回路チップ製造	-	1月27日	-		○						電子科
	集積回路組立て	-	1月27日	-		○						
光学機器製造	光学機器組立て	実施しません				○						光学ガラス科
内燃機関組立て	量産形内燃機関組立て作業	受検票参照	-	1級1/27	○							内燃機関科等
空気圧装置組立て	空気圧装置組立て	-	1月20日	1月20日		○						
油圧装置調整	油圧装置調整	受検票参照	-	2月3日	○							機械科
縫製機械整備	縫製機械整備	実施しません				○						縫製機械科
農業機械整備	農業機械整備	-	2月3日	○								農業機械科
冷凍空気調和機器施工	◆冷凍空気調和機器施工	-	2月3日	○								冷凍空調機器科
石材施工	石材加工	-	-	○								石材科
菓子製造	洋菓子製造	-	-	○								パン・菓子科
	和菓子製造	-	-	○								
建築大工	大工工事	-	-	○								建築科・枠組建築科
かわらぶき	かわらぶき	-	-	○								屋根科
配管	建築配管	-	1月27日	○								配管科等
型枠施工	型枠工事	-	1級1/27	○								建設科
鉄筋施工	鉄筋組立て	-	-	○								
コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事	-	1月20日	1月20日		○						
防水施工	合成ゴム系シート防水工事	受検票参照	-	-	○							防水科
	塩化ビニル系シート防水工事		-	-	○							
	改質アスファルトシート工法防水工事		-	-	○							
樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事	-	-	-	○							
カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工事	実施しません			○							サッシガラス施工科
ガラス施工	ガラス工事	受検票参照	-	1級1/27	○							
機械・プラント製図	機械製図手書き	1月27日	-	-	○							機械科
	機械製図CAD	1月27日	-	-	○							
金属材料試験	組織試験	受検票参照	-	-	○							熟処理科
塗装	鋼橋塗装	-	-	-	○							塗装科

単一等級（1職種1作業）

検定職種	作業	項目			実技試験			学科試験			備考欄	職業訓練指導員の対応職種
		製作等 作業試験	判断等 試験	計画立案等 作業試験	全国統一	1/27	2/3	2/10				
電子回路接続	電子回路接続	受検票参照	-	-		○						電子科

3級（8職種9作業）

検定職種	作業	実技試験			学科試験			備考欄	職業訓練指導員の対応職種
		製作等 作業試験	判断等 試験	計画立案等 作業試験	全国統一	1/27	2/3	2/10	
機械加工	普通旋盤	受検票参照	-	-			○		機械科
機械検査	機械検査		-	-			○		
電子機器組立て	電子機器組立て		-	-			○		電子科
電気機器組立て	シーケンス制御		-	-	○				電気科・メカトロニクス科
建築大工	大工工事		-	-			○		建築科等
配管	建築配管		-	-	○				配管科等
テクニカルイラストレーション	テクニカルイラストレーションCAD	1月20日	-	-			○	実施会場の調整有り	機械科
機械・プラント製図	機械製図手書き	1月27日	-	-	○				
	機械製図 CAD	1月27日	-	-	○			受検者制限有り	

注意事項

1 本人確認書類の添付について

受検者本人による受検を確認するため、受検申請書裏面の所定欄に本人確認書類（運転免許証又は健康保険被保険者証、学生証等）の貼り付けが必要となります。本人確認書類の提出は全ての申請者の方が対象です。

お預かりした個人情報は技能検定及びそれに付随する業務以外には使用しません。

2 職種によっては設備の都合上定員数を設け、受検申請期間内でも申請を締切る場合があります。対象職種作業は以下のとおりです。

職種	作業名	級	実技試験定員数
金属ばね製造	線ばね製造	1・2	32名
	薄板ばね製造	1・2	16名
鉄筋施工	鉄筋組立て	1・2	24名（各級12名）
防水施工	合成ゴム系シート防水工事	1・2	合計15名
	塩化ビニール系シート防水工事	1・2	合計15名
	改質アスファルトシート工法防水工事	1・2	合計10名
機械・プラント製図	機械製図 CAD 関東能開大会場	1~3	合計20名
金属材料試験	組織試験	当協会あてお問合せ下さい	

※機械製図CAD 昨年度の会場使用設備実績

	関東能開大（小山市）
CADソフト	AUTOCAD2016
OS	Windows8.1pro
日本語変換	IME2012
コンピュータ	HP Z230
ディスプレイ	24in
印刷	Hp DesignjetT250

これら作業に該当する受検申請書は郵送はできません。事前連絡の上、直接当協会へお持込みください。（先着順）

3 実技試験の受検者が僅少の場合は、その作業の学科試験だけを実施し、実技試験は実施しない場合があります。

該当作業の実技試験受検者数が概ね5人未満の場合は原則として実技試験を実施できませんので、その場合、実技試験受検料はお返します。

4 実技・学科試験ともに集合時間から30分経過した場合、公平性確保の為、いかなる理由があっても入場出来ませんのでご注意ください。

5 計画立案等作業試験・判断等試験は実技試験の一部ですので学科試験とは別です。受検の際注意してください。

6 同時に2作業以上を受検申請する場合は、あらかじめ問い合わせた上で申請してください。

7 技能検定合格者のうち、実技試験で特に優秀な成績を収めた方、また、技能五輪栃木県地方大会に参加し、特に優秀な成績を収めた方には、級別・作業別・競技職種別に栃木県職業能力開発協会長より表彰します。

8 記号（♥♦♣♠）の付された作業は必要資格がありますのでお気を付け下さい。

原則、製作等作業試験当日の受付時に提示していただきます。

♥ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証

記号凡例： ◆アーク溶接特別教育受講証明又は自己申告書

♣動力プレスの金型取替え特別教育受講証明又は自己申告書

♦研削といしの取替え特別教育受講証明又は自己申告書

9 3級実技受検手数料における在校生とは、高等学校・職業訓練校等の学生が該当します。

10 「作業試験は自社実施」とある作業については、製作等作業試験を受検者の所属事業所（設備）を利用して実施します。

このため、受検申請時、事業所としての協力（設備提供・技能検定委員補佐員等の受け入れと選任及び派遣）の確認を要します。

11 身体等に障がいがある方で、学科試験等で特別な配慮が必要な方は、受検申請時にお申し出ください。

12 平成5年度職業能力開発促進法の一部改正により、職業訓練指導員免許職種が改正されましたが、旧免許職種でも免除を受けることができます。

3. 受検手数料及び減免について ~受検手数料の課税区分は非課税です

◆受検手数料の入金期間

平成 30年 10月 1日(月)～ 10月 12日(金)

入金期間内にお支払いいただきますよう、お願ひいたします。

◆受検手数料の払込方法

当協会指定用紙(足利銀行又はゆうちょ銀行)によりお振込みください。振込手数料は申請者負担となります。
指定用紙は、受検申請書の右側にございます。

◆領収書について

指定用紙によりお振込みいただき、申請者のお手元に残る領収書は、申請書等に貼付いただく必要はありません。
申請者ご本人が大切に保管して下さい。

◆事業所等により一括でお振込みいただく場合

複数の受検者分を一括でお振込みいただく場合のみ、インターネットバンキング等によりお振込みいただくこともできますが、申請書を提出いただく際、当協会のホームページからダウンロードできる「受検手数料払込名簿」を添付していただき、振込の内訳が分かるようにして下さい。

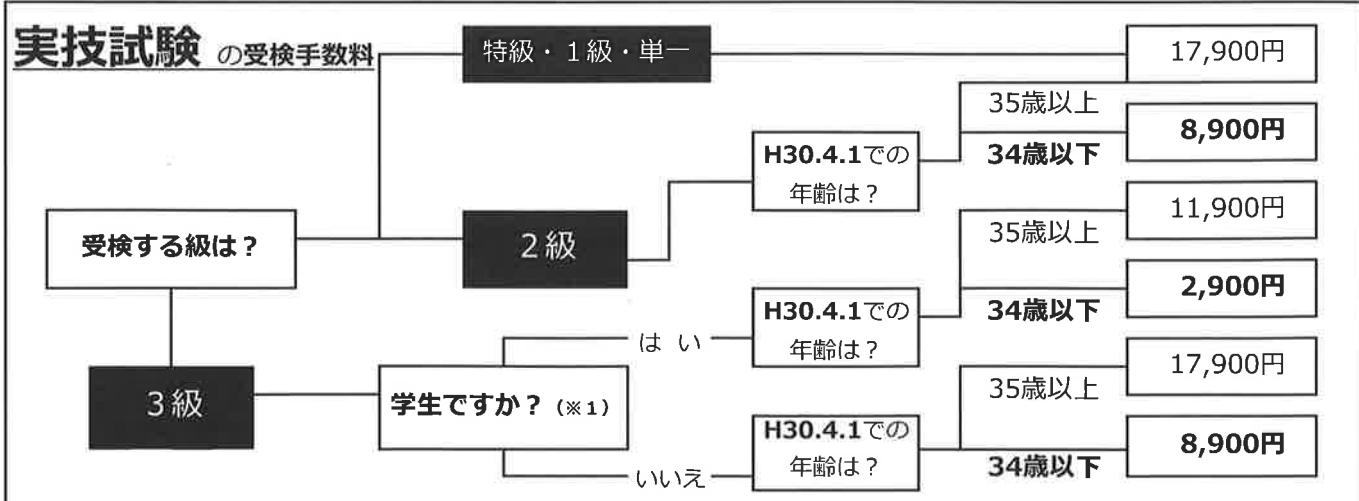
◆受検手数料と減免について

2級及び3級を受検する35歳未満（昭和58年4月2日以降生まれの方）の受検者に対して、実技試験の受検手数料が減免されます。2級及び3級の実技試験を受検される方はご注意下さい。（外国人技能実習生等はこの対象外です）
また、学科試験の受検手数料は現行の「3,100円」のままで変更はありません。

受検手数料一覧表

(単位：円)

受検する級	H30.4.1現在の年齢（注2）	実技・学科とも受検（A甲区分）	実技のみ受検（A丙・C区分）	学科試験のみ受検（A乙・B区分）
特級・1級・単一	全年齢	21,000	17,900	3,100
2級	35歳以上	21,000	17,900	
	34歳以下	12,000	8,900	
3級	35歳以上	21,000	17,900	3,100
	34歳以下	12,000	8,900	
学生 (※1)	35歳以上	15,000	11,900	3,100
	34歳以下	6,000	2,900	



(※1) 公共・認定職業能力開発施設（短期課程・在職者除く）、高等学校、専門学校、高等専門学校、短期大学、大学の在校生

4. 受検資格

技能検定の受検資格は、下表に示す実務経験年数によります。

区分	特級 1級の技能検定に合格した後の実務経験年数 (※5)	1級			2級		3級	単一等級
		直接1級を受検	2級合格後	3級合格後	直接2級を受検	3級合格後	3級の受検に必要な実務経験年数	単一等級の受検に必要な実務経験年数
実務経験のみ		7			2		0 (※2)	3
高校卒業後の実務経験(※1)		6					0	1
短大・高専・高校専攻科卒業後の実務経験(※1)		5					0	0
大学卒業後の実務経験(※1)		4					0	0
専修学校又は各種学校卒業後の実務経験（厚生労働大臣が指定したものに限る）(※1)	800時間以上	6					0 (※3)	1
	1600時間以上	5					0 (※3)	1
	3200時間以上	4					0 (※3)	0
短期課程の普通職業訓練修了後の実務経験(※1)	700時間以上	6					0 (※4)	1
普通課程の普通職業訓練修了後の実務経験(※1)	2800時間未満	5					0	1
	2800時間以上	4					0	0
専門課程の高度職業訓練修了後の実務経験(※1)		3	1	2			0	0
応用課程の高度職業訓練修了後の実務経験(※1)							0	0
長期課程の指導員養成訓練修了後の実務経験(※1)				1			0	0
職業訓練指導員免許取得後の実務経験(※1)							-	0
上記に掲げる学校・訓練校の在学中及び訓練中の方(※1)	-	-	-	-	0	0	-	-
当該検定職種に関連しない学科に在学中及び訓練中の方(※6)	-	-	-	-	0	0	-	-

- 1 (※1) 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に関するものに限ります。
検定職種に関連のない学科・訓練科又は免許職種を卒業又は修了した方は「実務経験のみ」の欄の年数になります。
- 2 (※2) 検定職種に関して実務の経験を有する（したことのある）方について、受検資格が認められます。
- 3 (※3) 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたのであるか否かに問わらず受検資格を付与します。
- 4 (※4) 総訓練時間が700時間未満のものを含みます。
- 5 (※5) 特級受検お申込みの際は、1級の技能検定合格証書のコピーを添付して下さい。
- 6 (※6) 工業高等学校等に在学する方等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受験に際して、安全衛生上の問題等が無いと判定された場合。（確認書類が必要です）
- 7 必要な実務経験年数とは、申請書受付最終日現在までに有すべき年数となります。
- 8 1・2級の直接受検とは、検定職種について上表の実務経験年数があれば2・3級に合格することなく直接1・2級を受検することができるといいます。
- 9 1級・2級・3級合格後とは、合格証書交付年月日が起算年月日となります。
- 10 厚生労働大臣指定校は別に定められていますので、当協会までお問い合わせ下さい。
- 11 受検資格判定等で困難が生じる場合、成績（履修）証明書を提出いただく場合があります。

5. 試験の免除

受検申請時に下表に該当する方は、それぞれ当該試験が免除されます。

申請書の免除欄に所要の事項を記入するとともにその免除資格を証明する書面のコピーを添えてご提出下さい。

申請手続き終了後に免除資格が判明しても免除が受けられません。

免除の対象者		免除される職種及び試験	免除される等級	備考
技能検定に合格した方		同一職種の学科試験	1級合格者は1級 2級又は3級 2級合格者は2級又は3級 3級合格者は3級 単一等級合格者は単一等級	
技能検定の実技試験又は学科試験に合格した方		同一検定職種該当作業の実技試験又は学科試験	特級合格者は特級 1級合格者は1級 2級又は3級 2級合格者は2級又は3級 3級合格者は3級 単一等級合格者は単一等級	特級は、実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあっては年度終わりまで）有効
職業訓練指導員試験に合格した方又は職業訓練指導員免許を受けた方		相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級	
建築士	建築士法による1・2級建築士試験に合格した方又は1・2級建築士の免許を受けた方	建築大工職種、ブロック建築職種、枠組壁建築職種の学科試験	1級、2級又は単一等級	
	建築士法による木造建築士試験に合格した方又は木造建築士の免許を受けた方	建築大工職種、枠組壁建築職種の学科試験	1級、2級又は単一等級	
技能照査	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、5年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	特級、1級、2級、3級又は単一等級	
	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、2年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級	
	応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級	
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、4年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	1級、2級、3級又は単一等級	
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査の合格後、1年以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級	
	専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級又は3級	
	普通課程の普通職業訓練における技能照査の合格後、2年（訓練時間2800時間以上は1年）以上の実務経験を有する方	相当する検定職種の学科試験	2級、3級又は単一等級	
	普通課程の普通職業訓練における技能照査に合格した方	相当する検定職種の学科試験	2級又は3級	
	短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了した方	相当する検定職種の学科試験	1級技能士コースは1級、2級、3級 2級技能士コースは2級、3級 単一等級技能士コースは単一等級	
	技能五輪全国大会において技能証の交付を受けた方 技能五輪地方大会において技能証の交付を受けた方 全国障がい者技能競技大会の実技部門又は学科部門において技能証の交付を受けた方	相当する検定作業の実技試験 相当する検定作業の実技試験 相当する検定作業の実技試験 又は学科試験	1級又は単一等級 2級又は3級 2級又は3級 1級又は2級	
東京商工会議所が行う和裁の技能検定に合格した方		和裁職種の実技試験	1級合格者は1級又は2級 2級合格者は2級	

※ 試験の免除については、主なものを掲載しています。その他詳しくは、当協会までお問合せください。

6. 技能検定に係る講習会実施団体一覧

作業名	実施主体	電話番号
バーカッショ式さく井工事	栃木県さく井ポンプ協会	0285-45-8352
ロータリー式さく井工事		
機械検査（2級のみ）	県央産業技術専門校	028-689-6380
農業機械整備	（株）クボタ	028-300-3054
冷凍空気調和機器施工	県央産業技術専門校	028-689-6380
大工工事	県央産業技術専門校 関東職業能力開発大学校	0285-31-1711(代)

作業名	実施主体	電話番号
建築配管	県央産業技術専門校	028-689-6380
合成ゴム系シート防水工事		
塗化ビニル系シート防水工事	栃木県防水技能士育成会	028-652-5020
改質アクリル系シート防水工事		
鋼橋塗装	栃木県塗装業組合	028-638-9488

※ 講習会の受講希望がある方は、直接上記団体にお問合せください。

※ 上記の表は、講習会実施実績がある団体等です。今年度、必ずしも講習会を開催するとは限りません。

※ 当協会では講習会に関わっておりませんので、ご了承ください。

7. 技能五輪栃木県地方大会（技能五輪全国大会予選）

若き技能者の皆様、技能五輪に挑戦しましょう！

第57回技能五輪全国大会（平成31年11月開催予定）の予選を兼ねて

栃木県地方大会を技能検定と併せて実施します。

若い技能者を育て優れた技能を伝承していくため、積極的にご参加ください。

- 独自選考基準等による職種（12職種） ※技能検定とは別の課題なので、技能証の交付はありません

電工	電気溶接	美容	理容
洋菓子製造	西洋料理	★造園	和裁
日本料理	レストランサービス	車体塗装	ITネットワークシステム管理

記号凡例： ★造園職種は、国際大会開催時は2名1チームとなりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

独自選考基準等による職種においては、下記の技能検定2級課題を使用する職種とは申請方法や選考方法、参加手数料等が異なりますので、参加希望者は当協会までお問い合わせの上、申請をして下さい。

後期申請分 技能五輪栃木県地方大会実施職種

- 技能検定2級課題を使用する職種（5職種5作業）

検定職種	作業	検定職種	作業
冷凍空気調和機器施工	♥冷凍空気調和機器施工	配管	建築配管
石材施工	石材加工	機械・プラント製図	機械製図CAD
建築大工	大工工事		

記号凡例： ♥ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証の提示が必要です（大会当日）

- 1 参加資格・申し込み 平成8年1月1日以降に生まれた方。技能検定受検申請と同様に申請して下さい。
技能五輪栃木県地方大会参加申込書に必要事項記入のうえ、技能検定受付期間内に当協会へお申し込みいただき、参加手数料を所定の振込用紙によりお振込み下さい。
又、2級技能検定と併願する際は、受検申請書の左上に「五輪希望」と朱記して下さい。
- 2 開催日・内容 地方大会開催日は受検票を参照して下さい。試験内容は2級実技試験問題によります。
技能五輪全国大会の参加資格は、23歳以下の方で技能五輪地方大会に参加し、優秀な成績を収め、都道府県知事もしくは地方大会実施機関の長又は両者の協議により推薦を受けた方です。地方大会の順位を選手・所属団体様あて通知したのち推薦し、全国大会の選手決定は、5月下旬頃を予定しています。
なお、国際大会の予選を兼ねた全国大会において、各競技職種で21歳以下の方のうち最優秀の成績を収めた方1名が、日本代表選手として技能五輪国際大会へ派遣されます。
※一部の職種において、例外があります。
- 3 参加手数料 8,900円 ※独自選考基準等の職種は、個別にお知らせします
- 4 特典（技能証） 技能五輪地方大会において、一定水準以上の成績を収めた参加者には、技能証を交付します。この技能証を以て、関連職種2級技能検定の実技試験が免除されます。
- 5 その他 技能五輪全国大会に出場される方に、栃木県及び当協会より、育成経費等の助成が適用される可能性があります。
詳細は当協会までお問合せください。

記入例 技能検定受検申請書

平成30年9月 改定版

技能検定を受検したいので「技能検定受検案内」の記載事項及び次の事項に同意し、申請します。

技能検定実施運営に係る規則への必要な情報提供、講習会等の案内をする場合があります。
関係団体並びに関係企業等からの講習会案内を希望されない場合、右の□欄に選択してください。希望しない□

記入日 平成 30年 10月 5日		厚生労働大臣様 木県知事	
等級区分	特級・1級・単一・2級・3級		
検定職種	建築大工		
選択作業	大工工事 作業		
ふりがな	ヒヂギ いちろう		
氏名	柄木 一朗		
生年月日	昭和 63年 12月 24日		
年齢・性別	平成 29歳 (男・女)		
電話番号	自宅TEL 028-643-7002 携帯TEL 070-4489-9471		
学 校 名	宇都宮市立第一中学校		
履歴(最終のもの)	塙田工業高校 建設工学科		
換 職	宇都宮市塙田1-1-20		
受 槟 資 格	昭和 16年 4月～19年 3月 (平成 0年 3月～0年 0月) 年月～年月		
事 業 所 名	地位職名	所 在 地	在 職 期 間
(現在のもの) (柄木建築)		宇都宮市昭和1-3-10	昭和 22年 4月～30年 10月 (平成 0年 8月～6年 6月) 大工
(+)			
（作業名）	（作業）	（年月）	（年月）
受検年月日：平成 30年 09月 05日			

本人確認書類の貼付欄	
<p style="text-align: center;">氏名 柄木 一朗 昭和63年12月24日生 住所 柄木浦富士見町1-3-10 マロニエイン横浜202号室 文字 年月日 ○年○月○日</p> <p style="text-align: center;">○年○月○日まで有効 運転免許証番号 第○○○○年○月○日～第○○○○年○月○日</p> <p style="text-align: center;">※ 第 00000000000000000000 号</p> 	
<p style="text-align: center;">受検番号 柄木一朗 製品番号 公式会員登録証</p>	

- 注1) 各項目の、※の部分は記入しないでください。
 注2) 試験の免除又は受検資格に関する下位の技能検定合格等(特級受検者等)がある場合、それを証明する書類の写しが必要です。

技能検定写真票

級 別	特級・1級・単一・2級・3級
職 種	建築大工
姓 名	柄木 一朗
現住所	〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 マロニエインA棟302号室
携帯TEL	070-4489-9471
勤務先	(有)柄木建築
勤務先所在地	宇都宮市昭和1-3-10
勤務先電話番号	028-643-2357
試験会場	宇都宮市昭和1-3-10 マロニエインA棟302号室
試験日時	昭和 63年 12月 24日
特別教育等	※
受検手数料取納状況	受検手数料取納状況
学科試験	実技試験
学科試験料	実技試験料
受検手数料一覧表	受検手数料一覧表
受検手数料一覧表	受検手数料一覧表
（ご不明な点はお問合せ下さい）	
受検手数料一覧表	受検手数料一覧表
受検する 等級	H30.4.1時
年 齡	実・学両方
A甲	実技のみ
A丙・C	学科のみ
A乙・B	
特・1・单	全年齢
21,000	17,900
3,100	
35歳以上	21,000
21,000	17,900
2級	34歳以下
(12,000)	8,900
3級	35歳以上
12,000	8,900
学生	35歳以上
15,000	11,900
6,000	2,900
（※）	（※）

«技能検定試験参考図書のご案内»

技能検定試験参考図書の販売を行っております。受検される方はお役立て下さい。

H30.8.17 更新

なお、ご購入・在庫照会は栃木県職業能力開発協会（☎028-643-7002）までお願いします。

新版・技能検定学科試験問題解説集【1・2級】

書籍名	金額	1冊重量
No.2 配管	¥3,240	448g
No.3 塗装		428g
No.4 型枠施工	¥1,620	193g
No.5 鉄筋施工	¥2,160	250g
No.7 内装仕上げ施工	¥3,780	530g
No.8 冷凍空気調和機器施工／熱絶縁施工	¥2,700	344g
No.9 仕上げ		216g
No.10 機械・プラント製図	¥2,376	285g
No.11 機械検査	¥2,160	235g
No.12 機械加工	¥3,240	500g
No.13 造園		225g
No.14 金属プレス加工	¥2,160	176g
No.15 金属材料試験	¥2,808	290g
No.16 鉄工	¥3,240	378g
No.17 建築板金（内外装・ダクト）	¥2,808	320g
No.18 工場板金 (曲げ・打ち出し・機械 ・数値制御レットドリル入)	¥3,240	400g
No.19 めっき／ダイカスト		
No.21 電子機器組立て	¥1,944	192g
No.22 電気機器組立て	¥3,240	460g
No.23 電気製図	¥1,944	233g
No.24 油圧装置調整	¥1,728	230g
No.30 建具製作	¥2,160	248g
No.31 左官／タイル張り	¥2,700	340g
No.32 建築大工／畳製作	¥2,808	284g
No.33 防水施工 (シリコンゴム・アクリルゴム・セメント ・シリソング)	¥3,024	350g
No.34 防水施工 (アスファルト・合成ゴム・塩化ビニル ・改質アスファルト)	¥3,456	550g
No.35 とび／かわらふき	¥2,700	310g
No.36 サッシ施工／ガラス施工	¥2,916	370g
No.37 プラスチック成形	¥3,024	374g

技能検定学科試験問題解説集【1・2級】

第4集 金属熱処理	¥2,376	210g
第11集 建築図面製作、 テクニカルイラストレーション	¥2,160	250g
第18集 建設機械整備	¥1,620	166g

技能検定試験問題集【特級】各 ¥1,836

一冊重量 470g (該当年度に出題された試験問題を収録)

H27年度 特級技能検定試験問題集 第1集・第2集

※収録種類についてはお問い合わせください。

H26年度 特級技能検定試験問題集 第1集・第2集

※収録種類についてはお問い合わせください。

過去試験問題コピーサービス

昨年度の問題に限り、閲覧・コピーのサービスを行っております。

コピーを希望する場合は、1部500円で承ります。コピーサービスのみご希望の場合は送料は発生いたしません。

【例】

級・作業名	学科試験	実技試験
1級 フライス盤	1部	1部
2級 フライス盤	1部	0部

⇒ 500円×3部=1500円になります。

送料について (書籍を郵送する場合は送料が発生いたします。)

1冊のみ	→ 180円
250g以内	→ 215円
~500g以内	→ 300円
~1Kg以内	→ 350円
~2Kg以内	→ 460円

※重量が2Kgを超える場合にはゆうパックにてお送りいたします。

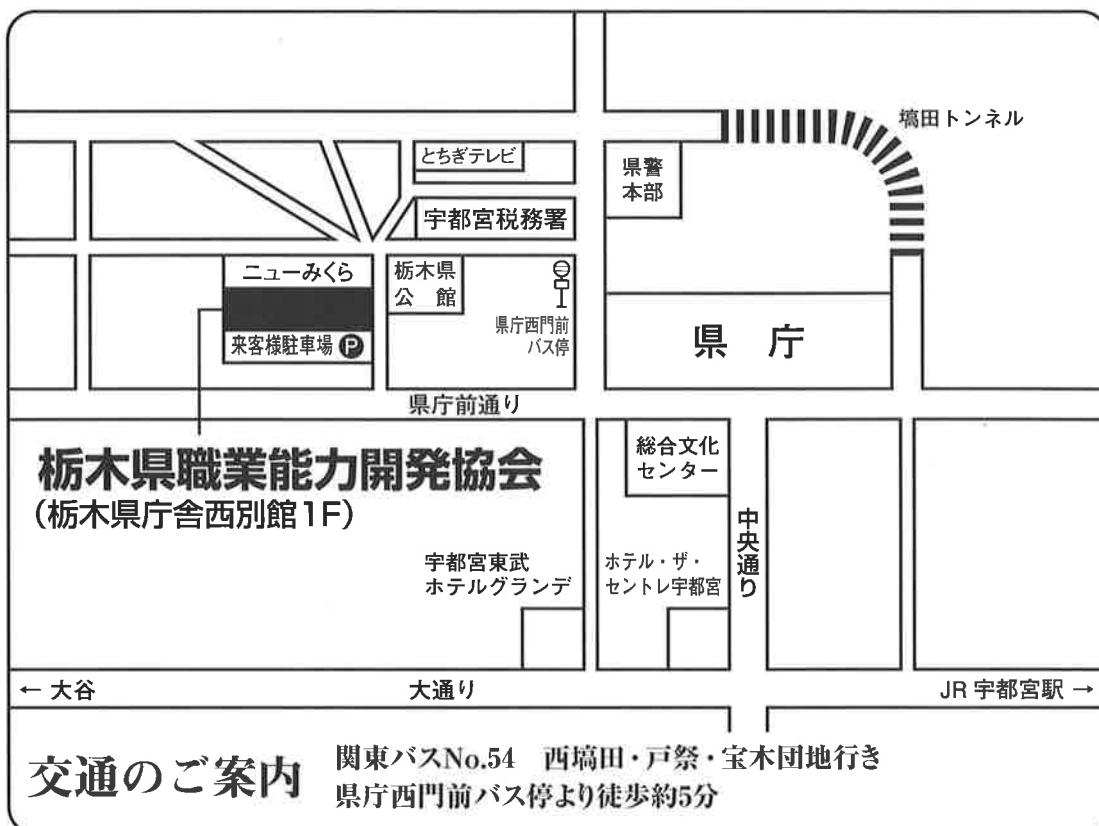
(栃木県内800円、県外850円。県外は距離に応じて加算)

協会窓口にて書籍をお受け取りになる場合は送料は発生いたしません。

※ 名称及び価格等につきましては変更となる場合があります。

※ ★の書籍は在庫が少なくなっている書籍です。(お手数ですが、購入前に一度協会へお問い合わせください。)

<お問合せは下記へ>



栃木県職業能力開発協会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館

電話 028-643-7002
070-4489-9472
FAX 028-600-4321

<http://www.tochi-vada.or.jp/>

◎年齢・学歴早見表 (受検資格算出にご活用下さい)

生年	昭和 25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
年齢	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52
中学卒	昭和 41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
高校卒	昭和 44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60

生年	昭和 42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
年齢	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35
中学卒	昭和 58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
高校卒	昭和 61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

生年	昭和 59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
年齢	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
中学卒	平成 12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
高校卒	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31